

辺境都市ヤリ・マーン

行商を営む私は、新たな販路を求めてこの辺境の都市まで足を延ばしていた。

ここから先の地方は魔獣等の危険が多いためリスクは上がるが一方、競合相手は減り上手いけば希少な辺境素材を取り立てる可能性がある希望の地でもあった。

とはいえ、好き好んで危険な目にはあいたくないので今回は、下見を兼ねこの地になれた護衛兼ガイド役を雇うことにした。

ギルドから紹介された護衛は気さくでいい奴だった

よろしく

よろしく旦那

ういっす

ギルドからの評価も高く今回の旅程は安心してきそうだな

ところで…その子は獣人なのかな？
そんな子供も連れて行くのかい？

ん…？ああ、連中は子供でも体力あるんで、こゝら辺じゃ普通に使ってますぜ？
旦那が気になるようなら今回は置いていきますが…

ああ…いや、中央じゃ獣人は見かけないものでね。
君たちのやり方に口を出す気はないよ

ミケ (12)

へへ、ありがとうございます
旅の安全はしっかり保証するので
任せてくださいえ。

私が商品にならない砂糖菓子の欠片などを上げると、
その獣人の少女はすぐになついてくれた

えと僕もよく
いってあげよう

これあげるよ

わー

はは...

ありがとう!

少女の屈託のない笑顔を
見ていると、覚悟を決めて
始めたこの旅も意外と
楽しめる様な気がしてくる

それから、時折魔獣と遭遇
する以外大きなトラブルもなく

ガリン

ブリン

旅程を順調に消化していった

そんなある日の夜...

んん...

何だこんな夜中に...

まだみんな起きてるのか...?



え? いやいや、こういう事も混みで雇ってやすんで

身体は丈夫だし、
人間の性病には感染しない

それに、こういう時に
こいつらは便利でしてね

獸人の子供なんてこんな事でも
しないと仕事ないですからね



そして、発情期以外じゃ滅多に孕まない

それじゃ旦那、俺らは見張りに戻るんで

旦那もよければ使って良いですぜ





ミケのおまた...
いじめるの...?

おじさんも...

はっ
はっ

はっ

少女のしなやかな体と獣人の引き締まった胎内に
興奮した私は、少女の奥へ奥へと自分のモノを突きいれ続けた

気付いた時には、私は少女に自分のモノを深く突き立てていた



ドチュッ

ドチュッ

ドチュッ

ドチュッ

ドチュッ

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ぢゅぽ

男二人に開発されていて少女の膣穴は握られているかのようにきつい

テント内は水浴びも出来ないだろう少女の体臭と性交の匂いで満ちている

そのことが私を一層興奮させた

私は旅生活で長らく感じていなかった雌の感触に無我夢中で腰を叩きつけた





ああ...射精る...射精る...

はっ...♡

はっ♡

はっ...♡

はっ♡

はっ♡

はっ...♡

はっ...♡

長旅で溜まりに溜まった精子が
少女の膣で搾りとられる...

はっ...♡

すっ...♡

すっ...♡

あ...♡

ふんっ!

ふんっ!

ふんっ!

ふんっ!

トッ

トッ

トッ

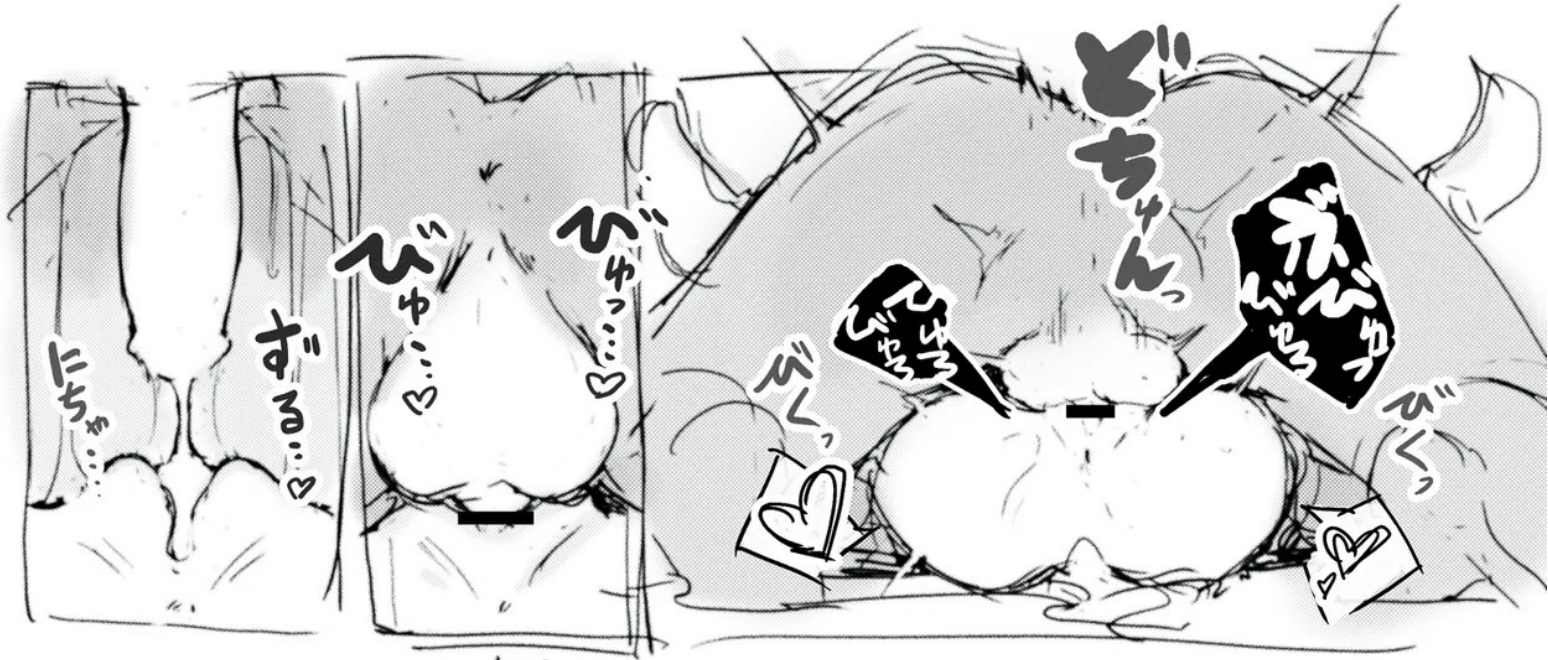
ちゅっ

ちゅっ

トッ

トッ





ふう...久しぶりだったから年甲斐もなく
無茶をしてしまった...

中から精液がまだ溢れて来てるな...
まあ獣人は孕みにくいから大丈夫だろう

辛い旅だと思ってたが
楽しくなりそうだな♥

しかし獣人がこんなに
いいものとは...